

# 脳卒中で経管栄養を実施する患者さんの必要水分に関する調査のお知らせ

脳卒中をおこすと飲み込みに関する機能障害から、口から食物をうまく摂取できないことがあります。これを『嚥下障害』と言います。嚥下障害を起こすと、口から食事ができないため、鼻から直接栄養摂取をします。これを『経管栄養』といいます。経管栄養の際は、栄養に加え、水も管から流すこととなります。そのため、十分な水分管理を行わないと脱水になることが予想されます。

この度、小倉記念病院脳卒中専門病棟では、経管栄養を行う患者さんの水分量が十分かどうかの調査を行うこととなりました。

この調査により、入院患者さんのより安全で効果的な水分、養管理ができればと思っております。

## 【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において2023年4月から2024年3月の間に脳卒中で入院し、経管栄養を実施した患者さんを対象としています。調査対象期間内に入院した患者さんの診療録から、血液検査データや体重などについて情報から水分、栄養状態の分析を行います。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。

## 【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表(学会や論文等)の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません。

## 【連絡・問い合わせ先】

小倉記念病院

総合6階看護師 渡邊俊一

〒802-8555

北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号

電話 093-511-2000(代)

